

2008年

10月18日（土曜日） - 森の精霊の家 ツリーハウス -

本日、久美浜町蒲井の森で、ツリーハウスの棟上のお披露目イベントを開催させていただくことができました。このツリーハウスは、蒲井の海岸を臨む丘を切り開いてそこにそびえるタモの木のお借りして制作されたもので、世界で唯一と伺いますが、海を展望できる形の素晴らしいもので、また山陰海岸国立公園という自然公園の中のツリーハウスの設置は全国で初めてとお聞きします。とても素敵このツリーハウスは、株式会社ツリーハウス・クリエーションの代表で日本のツリーハウス協会の会長でもある、小林崇さんはじめスタッフの皆さんに大変お世話になり、約40日かけて全精力をかたむけて制作していただきました。心から感謝を申し上げます。

また、地元の蒲井・旭地区の皆さんには、ツリーハウスに至る木道づくりを2箇所つくっていただきましたし、制作作業のお手伝いや入り江のごみ拾いなど、多大なボランティアをかけていただき、本当にありがとうございました。

このツリーハウスには、いろんな意味、メッセージを持っていると思いますが、私としては、今、地球環境と人との共生の時代を迎える中で、自然と人との共生をよく象徴するもののようにその形状から受け止めることができますし、また私には、沖縄のキジムナー伝説のように森には精霊がおられて普通目には見えない精霊の住家を人の目に見えるように色づけて形どったもののようにも見え、森は生き物だよ、そんな生き物の森の命を大切にしよう、というメッセージのようにも見えます。このようにツリーハウスは、接するそれぞれの人の中で、環境と人との共生の喜び、夢のファンタジーを育んでくれる、自然と人の協働制作の贈り物でもあります。

本市は、この蒲井・旭の地域に象徴されるような大変豊かな海、山、里の自然環境に恵まれ、これを感謝し、環境の豊かさと調和、共生して、いきいきと生きづくまちづくりを目指しておりますが、その中で、このツリーハウスを通じ、海原はるかアジアや世界を臨みながら、環境との共生の大切さ、森や自然を大切にしよう、というメッセージが広く日本や世界に発信され、そして、ツリーハウスと出会う多くの皆さんの中の子ども心を生き活きとし、心を元気にして、またずっと癒されるような、そんな環境と人との豊かな交流がすすむ拠点になっていくことを願っております。その意味で「元気力の発信センター」でもあり、「森や自然の元気力に気づき発見する場所」でもあるのではないかと思います。今後、何より安全には十分に留意しながら運用のルールづくりも行い、小林代表はじめツリーハウス協会の皆さん、蒲井・旭の皆さん、京丹後市内外の多くの市民、関係者の皆さんと一緒に、域内外の多くの皆さんに来ていただいて、ツリーハウスの魅力や立地する蒲井・旭また本市の豊かな魅力に触れていただきたいと心から願っています。